

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	教育部 文化課	課長	山下 泰永
評価者	教育部	部長	平林 洋一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	図書館を核とした交流学習施設において、市民が生涯学習を進める上で、「情報センター」として質の高い情報を提供できるよう、図書館資料の充実や図書館司書の資質向上に努めています。
基本方針 (目指すべき方向性)	生涯学習を通じて、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課	
生涯学習講座参加者数	人		22,674	23,000		22,339	21,138	93.2	順調	生涯学習課
図書館利用者数	人		212,808	228,000		233,119	237,305	104	順調	文化課

施策指標の進捗状況と分析	平成30年3月に三郷図書館が開館し、市内5図書館の施設整備され2年が経過しました。図書館利用者数は、年度末は新型コロナウイルスの影響で、昨年度に比べ若干減はしていますが、ほぼ昨年並みです。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0110625	交流学習センター等管理費	文化振興担当	64,645,636	71,141,088	76,547,986			212,334,710	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	2.5	
2	0110630	交流学習センター等事業費	文化振興担当	6,653,005	4,307,354	3,035,617	3,932,000	3,932,000	21,859,976	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	1.4	
3	0110790	図書館管理運営費	図書館係	113,852,260	117,089,382	120,879,056			351,820,698	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	2.53	
4	0110795	図書館資料収集事業	図書館係	46,288,380	44,836,994	29,259,267	32,281,000	26,581,000	179,246,641	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.68	
5	0110800	図書館サービス事業	図書館係	4,560,844	4,113,831	4,972,445	5,635,000	5,094,000	24,376,120	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.63	
合計				236,000,125	241,488,649	234,694,371	41,848,000	35,607,000	789,638,145						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	令和元年度末における本市の市民一人あたりの蔵書数は、視聴覚資料(CD・DVDなど)を除いて4.48冊で前年より0.07冊増加。また、貸出数は市民一人あたり9.1冊で前年度より0.8冊増加しました。新鮮な図書を揃えることが、貸出数の増加に繋がっています。また、各館に図書館司書を適正に配置することで、図書館サービスやイベントの開催等効率的に運営されていると考えます。
重点化事務事業の考え方	第2次図書館基本計画に基づき、市民が生涯学習を進める上で、質の高い情報を提供できる「学習センター」「情報センター」「文化センター」としての図書館の充実を図ります。また、子どもから高齢者まで、本と触れ合う機会を増やすとともに、市民と市民が、本を通して出会う機会の充実を図ります。
縮減・廃止事務事業の考え方	「安曇野市選書の在り方ガイドライン」に沿って、効率的で無駄のない資料収集を行います。また、イベント等の事業内容を精査し、図書館を利用したことのない方にも来館いただけるよう、市民のニーズに合わせ企画していく必要があります。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	円滑な図書館資料とサービスの提供を主軸に、市内の図書館5館がそれぞれの地域性を生かした特色ある資料収集を図っていきます。また、図書館を利用したことのない市民へいかに来館いただくかを戦略的に考える必要があります。

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	文化を創り育むまち
基本施策名	芸術文化活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	教育部 文化課	課長	山下 泰永
評価者	教育部	部長	平林 洋一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	交流学習センターや公民館等文化施設の整備が進み、生涯学習の拠点整備が進みました。新たな文化施設の建設は難しい中、多様化する市民ニーズを受けたソフト事業の充実と、既存施設を最大限に活かした魅力ある文化活動の展開が求められています。
基本方針 (目指すべき方向性)	誰もが気軽に芸術や文化に触れることができる環境を整え、生きがいつくりや地域づくりにつながる場を創出します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課	
芸術・文化講座などの参加者数	人		14,844	15,000		14,609	13,556	90.3	停滞	文化課
美術館・博物館などの入場者数	人		78,096	80,000		70,892	64,822	81	停滞	文化課

施策指標の進捗状況と分析	年度末は、新型コロナウイルスの影響で、博物館施設の閉館や、芸術・文化講座の中止が相次いだ。よって講座への参加者数、施設への入館者数は減となっている。他方、年間を通しコンパクト展示・出前展示が充実し多くの市民に見ていただくことができた。また、お船祭り調査・民家調査などの報告書や、博物館紀要、明科の宝など多くの出版物を刊行することができた。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況				重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0110490	芸術教育普及事業	文化振興担当	5,119,082	4,189,767	3,833,290	3,909,000	3,932,000	20,983,139	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.75	○
2	0110495	美術館・博物館連携事業	文化振興担当	147,744	174,744	712,684	1,281,000	1,281,000	3,597,172	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.96	
3	0110500	文化芸術施設整備事業	文化振興担当	839,408	2,620,545	351,360			3,811,313	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.5	
4	0110515	豊科近代美術館管理運営事業	文化振興担当	33,893,500	32,830,000	37,295,000			104,018,500	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.3	
5	0110520	田淵行男記念館管理運営事業	文化振興担当	19,228,000	18,956,000	13,800,000			51,984,000	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.3	
6	0110525	飯沼飛行士記念館管理運営事業	文化振興担当	2,516,653	2,382,203	2,404,203			7,303,059	施設の管理運営	継続	令和7以降	事業の進め方の改善が必要	0.2	
7	0110530	臼井吉見文学館管理運営事業	博物館係	2,185,000	2,185,000	730,424			5,100,424	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	
8	0110535	徳高陶芸会館管理運営事業	文化振興担当	7,344,000	7,344,000	7,191,000			21,879,000	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
9	0110540	文化団体補助事業	文化振興担当	8,737,050	13,729,750	15,944,150	26,428,000	19,647,000	84,485,950	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.78	
10	0110565	安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業	文化振興担当	16,563,445	15,303,677	22,286,292			54,153,414	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.28	
11	0110572	安曇野高橋節郎記念美術館施設整備事業	文化振興担当			7,045,200		8,569,000	15,614,200	ハード(新規)	新規	令和3	事業の進め方の改善が必要	0.08	
12	0110575	豊科郷土博物館等施設運営管理事業	博物館係	15,554,743	19,848,228	19,571,649			54,974,620	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
13	0110580	豊科郷土博物館教育普及事業	博物館係	4,738,230	3,156,817	3,614,311	3,737,000	3,737,000	18,983,358	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1	
14	0110587	新市立博物館整備事業	博物館係			195,584	100,427,000	100,427,000	201,049,584	政策的業務	新規	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
15	0110590	文化財資料センター施設運営管理事業	文化財保護係	4,212,904	3,575,425	3,795,441			11,583,770	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
16	0110615	貞享義民記念館施設運営管理事業	博物館係	12,924,788	12,687,409	12,733,531			38,345,728	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
17	0110620	貞享義民記念館教育普及事業	博物館係	1,177,514	352,365	714,391	508,000	508,000	3,260,270	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
18	0110645	文化財保全事業	文化財保護係	3,561,705	8,204,518	2,237,385	2,553,000	2,553,000	19,109,608	義務業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	1	
19	0110650	地域史研究と文化財保存・活用	文化財保護係	6,813,969	2,774,863	3,393,488	1,725,000		14,707,320	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	1	○
20	0110660	文書館施設運営管理事業	博物館係	168,480	39,741,765	14,957,266			54,867,511	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1.2	

平成31年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	文化を創り育むまち
基本施策名	芸術文化活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	教育部 文化課	課長	山下 泰永
評価者	教育部	部長	平林 洋一

21	0110662	市史編纂事業	博物館係			47,600	3,118,000	2,371,000	5,536,600	政策的業務	新規	期限なし	現状のまま実施すること が 適当	0.3	○
22	0110665	文書館教育普及事業	博物館係	2,708,344	2,440,284	3,627,168	4,520,000	4,520,000	17,815,796	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施すること が 適当	1.1	
23	0110675	埋蔵文化財保護事業	文化財保護係	6,380,590	7,937,321	8,510,745			22,828,656	義務業務	継続		事業の進め方の改善が必要	1.5	
合計				154,815,149	200,434,681	184,992,162	148,206,000	147,545,000	835,992,992						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	美術館・博物館9館のうち、5館については指定管理業務としています。新市立博物館構想（H27）では、9館を博物館グループと美術館グループに集約し、基幹博物館、基幹美術館がそれぞれのグループを統括していく方向としています。新市立博物館が具体化するまでの間は、現在の施設管理体制を基本としつつも、実態に即した施設の運営・管理を行っていきます。 また、外部の文化振興関連の助成金を積極活用し、文化事業の促進を図っており、現在、3件約530万円の内示を受けています。
重点化事務事業の考え方	平成30年度から10ヶ年を目標年度とする第2次文化振興計画では、「学ぶ心が育ち 文化のかおるまちをつくります」を基本理念とし、ハードからソフトへと基軸を移した方向性が鮮明となっています。 博物館・美術館の出前展示や学芸員の人材育成を進め、令和元年度では「コンパクト展示」と称した出前展示を計21回、延べ770日開催しました。本庁ロビーや公民館、小中学校などで行いました。今後も様々な公共施設への展開を図ります。 平成30年10月に開館した文書館では、古文書や歴史的公文書の収集・整理と公開を進めています。
縮減・廃止事務事業の考え方	新市立博物館構想では、公共施設の再配置計画と連動して、いくつかの施設の統廃合や縮小を目指としています。平成30年度には高橋節郎記念美術館の指定管理移行と、臼井吉見文学館の文書館管理との一元化を図ることができました。 また、令和元年度は、既存施設を新市立博物館に活用するという選択肢も視野に、新市立博物館の整備に向けた検討をはじめました。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	コロナウイルスの影響もあり、施策指標である美術館・博物館の入場者数は減となった。しかし、博物館等施設以外の公共施設において、新市立博物館構想に基づくコンパクト展示を開催したり、お船祭り調査報告書、民家調査報告書、明科の宝、博物館紀要の刊行など、多様な幅広い活動を展開した。 引き続き各館連携を図り、ソフト事業を基軸としながら、第2次文化振興計画に示された、12の施策と44の具体的な取り組みに沿った事業展開をはかっていきます。